

公益社団法人

広島県パラスポーツ協会

広報誌
28号

発行日
令和7年3月14日

パラスポーツって、 たのしい！



児童生徒の心をつかんだ
開発者中村氏の
熱い想い

サポーターの
カープOB天谷氏と
一緒にプレー！

PICKUP
1

ユニバーサル野球を活用した学校授業

実施日：令和6年9月17日(火)・18日(水)・19日(木)

協会が主催となり、堀江車輛電装(株)と、広島東洋カープの協力を得ながら、福山市内の小中学校と県立特別支援学校において、誰もが共に野球を楽しめるユニバーサル野球を活用した学校授業を中国地方初で開催しました。

ユニバーサル野球®とは

鉄道車両整備と点検を行う堀江車輛電装(株)が、障害の有無や年齢を問わず誰もが楽しめるようにと、企画・開発された野球盤で、一般の野球場の20分の1の大きさに1辺約5メートルの組立式である。

障害のある方でも楽しめるように、バットは紐を引っ張ることでスイングできて車椅子に座りながらプレイできるなど様々な工夫が施されている。

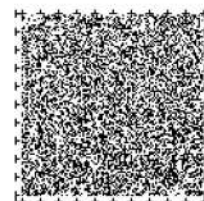
企画・開発を行っている堀江車輛電装(株)未来創造事業部は、学校授業やイベントをととして「ひとから応援される喜び」「ひとを応援する大切さ」を感じてほしいと全国をキャラバンしている。(公式HP: <https://universalbaseball.world/>)

実施校・参加児童生徒数

- ・広島県立福山北特別支援学校
中学部 84名
- ・広島県立沼隈特別支援学校
高等部・中学部・小学部 105名
- ・福山市立至誠中学校
1年生 30名
- ・福山市立湯田小学校
4年生 167名
- ・福山市立駅家小学校
6年生 130名

運営ボランティア協力企業

日本生命保険相互会社 福山支社



当協会主催事業の「大学生パラスポーツ交流会」を広島県立総合体育館で開催しました。将来を担う若者が、パラスポーツを通じた交流を行い、更なるパラスポーツの普及・振興とスポーツを通じて多様性を尊重し、インクルーシブな社会を実現の契機になることを目的としています。

研修と体験会には、パラスポーツやボランティアに関心がある大学生、医療・福祉・スポーツに関わる専門学生、計31名が参加しました。

今回は初めての試みとして、広島県インクルーシブフットボール連盟・A-pfeile（アフィーレ）広島に協力をいただき、各種インクルーシブフットボール（アンプティサッカー・ブラインドフットボール・フレイムサッカー・電動車椅子デモンストレーション・ウォーキングフットボール）を体験しました。

初めて競技に挑戦した学生が多く、パラスポーツの面白さを実感してもらうことができました。



参加者全員でパラスポーツ「P」のポーズで記念撮影



ワークショップで審査員を務めた
広島県インクルーシブフットボール連盟の
皆さま



真剣に研修を受ける学生



アンプティサッカーの体験



フレイムサッカーの体験

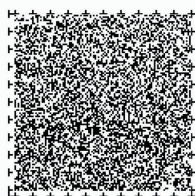


昼休みもパラスポーツの話題で親睦を深める学生

研修では、学生とA-pfeile（アフィーレ）広島の選手・スタッフがグループになり、ワークショップ「だれでも楽しめる新しいサッカーを考えよう！」を实践し、「だれでも楽しめる」を考える難しさを感じながらも、各グループ自由なアイデアを出し合いました。

交流会に参加した学生からは、「さまざまな大学の方と交流ができて、とても楽しかった！」「パラスポーツに関する情報を知ることができて、もっとパラスポーツについて知りたいと思った。」「実際にパラスポーツをされている方とたくさんお話しができて、新しいことを学べて、パラスポーツのおもしろさに気づけた。」といった感想をいただきました。

学生のみなさんには、今後もパラスポーツに関心を持ち、さらにパラスポーツを盛り上げていてもらいたいと思います。



第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」が佐賀県で開催されました。全国障害者スポーツ大会には、広島県選手団として毎年参加しており、第23回になる今大会には選手29名（身体14名、知的14名、精神1名）、役員27名の総勢56名で大会に臨みました。10月とは思えないほど暑い気候でしたが、広島県選手団は、金メダル7個、銀メダル11個、銅メダル10個を獲得することができました。メダルを獲得した選手、自己記録を更新した選手、悔しい思いをした選手など様々でしたが、佐賀県の皆さまと一体となって大会を楽しむことが出来ました。この大会を開催するにあたり、様々な準備をしてくださった佐賀県の皆さまには、この場を借りて改めてお礼を申し上げます。



また、障害者のスポーツへの感心や、体力の維持・増進、スポーツを通じて参加者との交流を深めるため、全国障害者スポーツ大会の予選会を兼ねて各大会を主催・共催しました。

■主催大会

- ・第18回広島県障害者陸上競技大会 令和6年5月12日(日)



- ・第23回全国障害者スポーツ大会バスケットボール競技
中国・四国ブロック予選会 令和6年6月8日(土)・9日(日)



- ・第5回広島県障害者ボッチャ競技大会 令和6年11月24日(日)



- ・第29回広島県知的障害者スポーツ大会(ボウリング)
令和6年12月7日(土)

- ・令和6年度広島県身体障害者アーチェリー記録会
令和7年3月29日(土)実施予定

■共催大会（スポーツ交流センター主催）

- ・第26回広島県障害者水泳競技大会 令和6年4月29日(月・祝)
- ・第27回広島県障害者水泳競技大会 令和7年2月23日(日)



- ・第29回広島県障害者卓球大会
身体障害者の部 令和6年7月28日(日)
- 知的障害・精神障害の部 令和6年10月20日(日)



- ・第24回広島県障害者フライングディスク大会
令和6年6月23日(日)雨天により中止



誰もが参画し楽しめることができるイベントとして令和5年度からスタートした「インクルーシブ・スポーツ・フェスタ」は、令和6年度で2回目の開催となり、福山市をメイン会場として、周辺4市町で、4,500名の参加者、観客、競技団体、協力企業、ボランティア、スタッフが集まりました。11競技のパラスポーツ体験会をはじめ、パラアスリートによるトークショーや、企業ブース、キッチンカーなどが出展し、笑顔あふれる楽しい時間を過ごすことができました。

協会においては、フェスタ開催によるパラスポーツの機運の高まりを活かして、パラスポーツをさらに県民に広く浸透するよう、引き続き多様な主体と連携を図りながら、取り組んでまいります。

■主催

・公益社団法人広島県パラスポーツ協会
インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島2024実行委員会
・株式会社 中国新聞社

■会場

・メイン会場 福山市
・エフビコアリーナふくやま
・クレセントビーチ海浜公園
・サブ会場 尾道市・府中市・庄原市・神石高原町

1. 開会式

協会会長、福山市スポーツ協会会長をはじめ、県知事、福山市長のあいさつの後、ハンザヨットの大和なゆた選手による開会宣言では、「私はハンザヨットから素敵な贈り物をいただきました。それは生きる喜びです」という言葉が会場に力強く響きわたりました。

またパリパラリンピック7位入賞の中西麻耶選手をはじめトップ・パラアスリートからは特別支援学校の生徒など、開会式来場者に温かなエールが贈られました。



トップ・パラアスリートのあいさつ



大和なゆた選手の開会宣言

2. 式典アトラクション

開会式では、地元福山市の特別支援学校の生徒による演目で華やかにフェスタの幕をあけました。

オープニングに、県立沼隈特別支援学校高等部1～3年の生徒による、YOASOBIの『ツバメ』の演奏、フィナーレでは、県立福山北特別支援学校高等部3年の生徒による力強い「よさこいソーラン」のパフォーマンスで、日頃の練習の成果を披露してもらいました。



県立福山北特別支援学校
演技 よさこいソーラン



県立沼隈特別支援学校
演奏 ツバメ

3. ボッチャエキシビジョンマッチ

ボッチャ元日本代表古満渉選手の解説のもと、県知事や福山市長、トップパラアスリート、特別支援学校の生徒らがボッチャの対決を行い、誰もが共に楽しめるパラスポーツの魅力を発信しました。



古満選手のデモンストレーション



勝敗の測定中

4. パラアスリート トークショー

トップ・パラアスリートによるトークショーでは、それぞれのパラアスリート競技にかける熱い想いを語り、会場に集まった参加者は、真剣に耳を傾けていました。



ボッチャ
古満 渉 選手



陸上競技 やり投げ
白砂 匠庸 選手



陸上競技 走り幅跳び
中西 麻耶 選手



車いすバスケットボール
古澤 拓也 選手

5. 競技体験会

メイン会場では各競技団体、企業等が11競技の体験会を運営し、約625名の参加者が様々な競技を体験しました。

ギソクの図書館では、義肢装具士が義足ユーザー個々の状態に合うように競技用義足をセッティングし、走る楽しさ、喜びを感じてもらいたいという試みを行いました。パリパラリンピック7位入賞の中西選手には、走り方の技術指導や試技を披露していただいた他、トップ・パラアスリートの白砂選手がやり投げ、古澤選手、根木慎志氏が車いすバスケットボール、古満選手がボッチャを、各体験会で指導していただきました。



ギソクの図書館



車椅子ソフトボール



車いすバスケットボール



アンブティサッカー



やり投げ



バラクライミング



ウォーキングサッカー



フロアホッケー



モルック



ボッチャ



ハンザヨット

6. 企業ブース

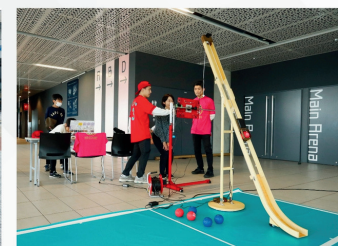
14社が出展した、企業・団体等によるブースでは、クリスマスグッズDIY体験はじめ、電動車椅子「WHILL」の試乗の他、ボッチャで用いる補助装置「ランプ」の操作を視線でコントロールできるように開発された「eBOCCIA」の体験など、デジタル技術を活用したパラスポーツの普及啓発を図りました。



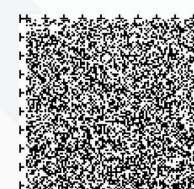
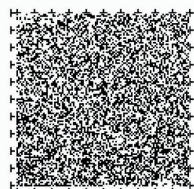
クリスマスグッズDIY体験
(株)大創産業・(株)ダイソーウィング



電動車椅子「WHILL」の試乗
(株)広島マツダ・(株)カーエース広島



eBOCCIA
(株)ユニコーン



PICKUP
5

令和6年度中国地区スポーツ推進委員研修会

実施日：令和6年6月29日(土)～30日(日)

中国地区5県合同で開催されたスポーツ推進委員研修会の1日目に、協会常務理事 崔希美 による基調講演をしました。「Power of Smile ～円滑なコミュニケーションはマナーの本質を知ることから～」の演題で指導員としての心構え【相手を不快な思いにさせないように気を配る・相手を思いやる心を持って接すること・相手と目線を合わせ、心を傾け相手に寄り添うこと】を伝えました。

また、スポーツには人を笑顔にする力があり、スポーツを通じて地域の方を笑顔にする活動を行なっていたために、指導員に限らず、人として大切なこと、第一印象を好印象にするための5原則、など、盛りだくさんの内容に、参加いただいたスポーツ推進委員の皆さまからは、「崔 常務理事の笑顔と前向きな発言を聞いて、こちらも元気をいただくような講演でした。」「相手をちゃんと見て正しい姿勢で挨拶をすることと、うなずきながら話を聴くことを習慣にします。」といった温かな感想をいただきました。

2日目には、「ウォーキングフットボール」「エスキートニス」「インドアクラブ」「体の調子を整える体操」の4種目の実技研修も行いました。



1日目の基調講演の様子

PICKUP
6

パリ2024パラリンピック出場 県ゆかりの選手 表敬訪問

実施日：令和6年10月18日(金)

パリ 2024 パラリンピックに出場した、広島県ゆかりの選手5名が広島県庁を訪れ大会での活躍を広島県知事と、協会会長へ報告をしました。

選手の皆さんが、積極的に声援を送る雰囲気すばらしさや、地元の応援に力をもたらしたことなどを伝えると、県知事は「ユニバーサルスポーツでリードしている皆さんを応援したいですし、ぜひ一緒になってみんなが楽しめる社会を作っていければと思います。」とコメントしました。

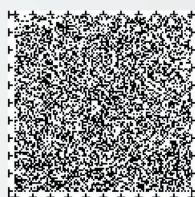
協会はこれからも選手の皆さまの活躍を応援し続けます！



表敬訪問した選手

- ・中西 麻耶 選手 【陸上競技 走り幅跳び】7位入賞 (写真後列右)
- ・後藤 将起 選手 【ブラインドフットボール】8位入賞 (写真後列左)
- ・田口 侑治 選手 【ゴールボール男子】金メダル獲得 (写真前列最左)
- ・高橋 利恵子 選手 【ゴールボール女子】6位入賞 (写真後列中央、オンライン参加)
- ・長谷川 勇基 選手 【車いすラグビー(C)JWRF2024】金メダル獲得 (写真前列最右)

※ 日本パラリンピック委員会 パリパラリンピック日本代表選手名簿順に記載

PICKUP
7パリ2024パラリンピック ゴールボール金メダリスト田口侑治 選手等
講演会&体験会

実施日：令和7年2月27日(木)

広島大学、NPO法人STAND、広島県、広島県パラスポーツ協会は「障害者スポーツ分野における連携協定」(H28.10締結)に基づき、パリパラリンピックゴールボール金メダリストの田口選手をお迎えし、体験会と講演会を開催しました。

会場は、田口選手の出身地、竹原市の中通小学校で、100人を超える児童が参加してくれました。

また、講演会は、NPO法人STAND代表理事、リーフラス(株)社外取締役の伊藤和子氏との対談形式で行われ、田口選手の「何度でも立ち上がる金メダルへの道」をテーマに、挑戦し続けることに大切さを伝えていただきました。



田口選手と伊藤氏の魅力あふれる楽しいトーク

体験会では、児童がアイマスクをつけてゴールボールに挑戦し、田口選手がボールの投げ方や捕り方をアドバイスしながら、試合を行いました。ゴールボールは1チーム3人で鈴の入ったボールを投げ合って得点を競う競技で、児童が鈴の音を頼りにうまくボールをキャッチすると、仲間から歓声が上がっていました。

参加した児童は「ゴールボールは障害があってもなくても楽しくできるスポーツだとわかりました。」「田口選手の話聞いて、チャレンジすることが大切だと感じたので、習い事を頑張って上達させようと思いました。」と話していました。最後には、児童一人一人が田口選手の金メダルに触れ、本物のメダルの輝きや重さを肌で感じ、興奮の渦に包まれました。



田口選手指導のもとチームで練習に励む様子

本物の金メダルに触れて喜ぶ児童たち

田口選手は、「子どもたちにゴールボールを知ってもらい、試合会場に足を運んで肌で感じてくれたらうれしいです。」と話しておられました。協会としても、今回の講演や体験をきっかけに、パラスポーツに興味を持つ子どもたちが増えることを願っております。ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました！



竹原市立中通小学校の児童生徒の皆さん



日頃から県パラスポーツの推進事業にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

当協会においては、障害の有無にかかわらず、誰もが参画し楽しむことで、パラスポーツの認知を高め、スポーツを通じて多様性が尊重される共生社会（インクルーシブ社会）の実現を目指しています。

この度、温かなご支援、ご協力を賜り、頂戴しましたご寄付から、競技用車いすやリハビリ用トレーナーベッドを購入させていただきました。ご寄付や寄贈品は協会事業を通して県内で広く活用させていただきます。



令和5年度

広島八谷建設株式会社様

「インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島2023」に頂いた多くのご協賛で、競技用車いす（テニス車2台・ソフトボール車4台）を購入させていただきました。

また「インクルーシブ・スポーツ・フェスタ2024」にも多くのご協賛をいただき、パラスポーツ用具の購入手続きを進めております。



令和6年度



株式会社サタケ様

「インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島2023」に頂いた多くのご協賛で、競技用車いす（バスケット車5台）を購入させていただきました。

西条ロータリークラブ様

令和6年度に、競技用車いす（バスケット車1台）を寄贈いただきました。



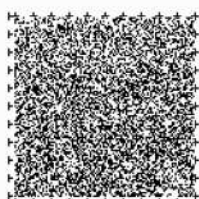
生命保険協会 広島県協会様

令和6年度にいただいたご寄付で、陸上競技大会で使用するリハビリ用のトレーナーベッドを2台購入させていただきました。



温かなご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます

★令和7年度以降順次、協会ホームページに、賛助会員入会の広報掲示承諾をいただいた会員さまのお名前を掲載させていただきます。



発行 公益社団法人 広島県パラスポーツ協会

□総務経理課・事業運営課

〒739-0036

広島県東広島市西条町田口295-3 スポーツ交流センター内

TEL : 082-426-3333 FAX : 082-425-6789

Mail : hiroshima-psa@vesta.ocn.ne.jp

□企画推進課

〒730-8511

広島県広島市中区基町10-52 広島県庁スポーツ推進課内

TEL : 082-225-7380 FAX : 082-225-7386

★広島県パラスポーツ協会ホームページ→

